

『高校生が主催し体験型で地域へ広める災害時対応』

近年あちこちで災害が起きているのに、島根県民はあまり『危機感』を持っていないように感じます。災害を経験したことのない県民が多いのも、本気にならない原因だとわかりました。でも実際に災害が起きますと、平田高校には、全校生徒の12倍=5千人もの被災者が押しかけてきます。「いざ何をすればいいのか?」と5年前の先輩方は悩み「1人でも多くの命と安全を守りたい!」と災害の啓発活動を始めました。「まずは自分達で」「いのち」を助けることができる救急員の資格取得や災害時対応研修を積み重ねてきました。その翌年にはそのノウハウを「全校生徒」にも広め始め、さらにその次の年には「地域の方々」にも広め始めました。しかし、既存の行事、目的が違う行事では、限界があります。そこで、自分たちで啓発行事を「主催」することにしました。そこへ今年4月、震度5強の地震が起きてしまいました。やっぱり立ちすくむ人が多くいました。5千人もの意識の低い人が、いっきに避難することになると、大混乱を招きかねません。



き **気づき**

かんが **考え**

じっこう **実行する**

- 「自分たちが身に着けたことを地域へ発信しよう!」
- より多くの人に 緊急時に“命”を守る大切さを知ってほしい! 地域社会の一員として、一緒に課題解決できる
 - 実社会に即した新しいアイデアが生まれ出せる! お互いの経験や思いを共有して刺激しあう
 - 人間の成長につながる! 卒業後もずっと人脈つながり、継承できる

＜活動内容(抜粋)＞



＜プロフィール＞

平田高校JRC部は昭和37年以前に創部された歴史ある部活動です。『気づき』『考え』『実行する』を合言葉に、人の役に立ちたい!と思う人がどんどん集まってきて、楽しく活動しています。近年は、全校生徒だけでなく、地域の大人・幼児・高齢者などいろんな立場の方々へ向けて、『体験型』で啓発を行うようになりました。全部自分たちで ニーズを見つけ出し、地域と 連絡・調整、企画、運営しています。この頃は 地域の方々から「一緒に活動しよう!」だけではなく「一緒に企画してほしい!」と呼ばれることも増えてきました。社会に出て大丈夫!と思われるほど、みんなが成長してきたと感じています。



私たちが“主催” (立案・地域での連絡調整・企画・申請・運営・お礼・継承)した「体験型」企画

企画から自分たちで

地域の大規模避難訓練で「体験型」防災

園児にも防災啓発

手足を自由に安全に逃げよう 風呂敷でリュック

ガレキから足を守ろう 新聞紙スリッパのワザ

学校行事も動かした(県内初!) 震度7の起震車体験

全校生徒へ新聞紙スリッパ作り & ガレキ歩き体験

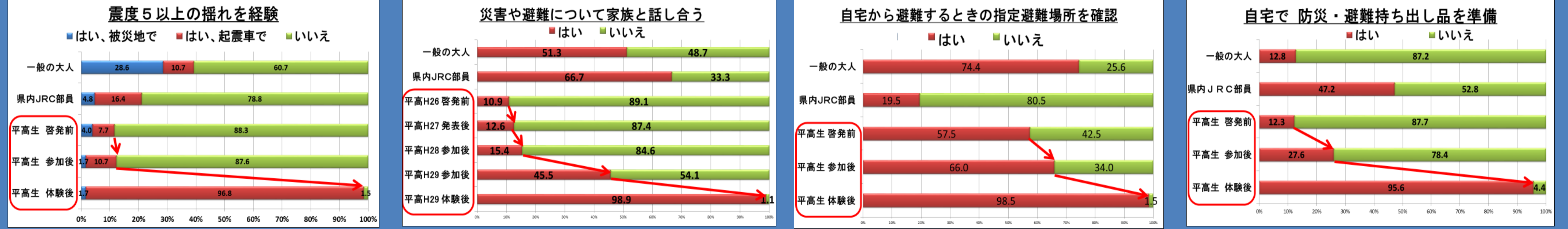
裸足だとマジで痛い!!!!

ひとり暮らしの高齢者へも交流&防災啓発

防災啓発で国際交流

Very fun!!

＜活動の成果(抜粋)＞

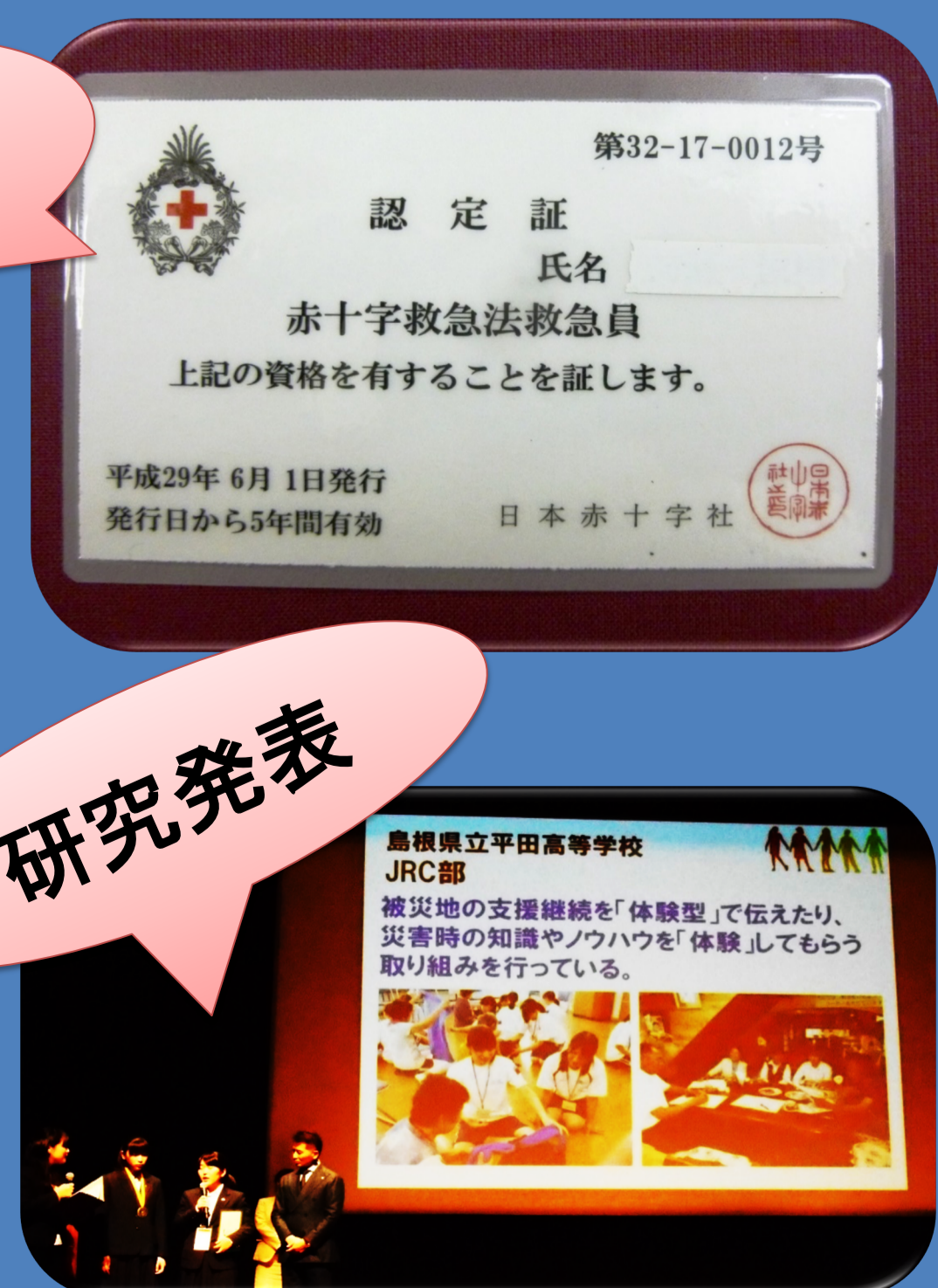


- 全国 総文祭 青少年赤十字部門 『島根県代表』
 全国 ボランティア アワード2017 『ベスト7』
 全国 ボランティア スピリット
 『(文部大臣賞 次席) ボランティア スピリット コミュニティ奨励賞』
 島根県 高文連 研究発表 『最優秀賞』
 島根県 救急法競技大会 『優勝』
 島根県 子育て支援ことのは大賞 『団体賞』
- 『救急員』資格取得 9名
 『ベーシックライフサポーター』認定 26名
 『あいサポーター (障がい者サポーター)』認定 24名
 『同メッセンジャー』資格 2名
 募金額 年間 約 25万円
 災害時対応の啓発イベント主催

「救急員」資格取得

研究発表

シンポジウム



- ### ＜今後の展望・夢＞
- ◎「体験型」ですべての人に防災意識を!
 - ◎ 広い地域で募金活動をする!
 - ◎ 「救急員資格」を多くの部員が取得したくさんの人の命を助ける!
 - ◎ 「高齢者理解」「乳幼児理解」「障がい者理解」そしてたくさんの人に広める!